

告示	番号	24	内分泌疾患
	疾病名	バセドウ病	

バセドウ (Basedow) 病

ばせどうびょう

概念・定義

甲状腺での甲状腺ホルモンの合成と分泌が亢進した状態が甲状腺機能亢進症である。自己免疫機序により甲状腺がびまん性に腫大し甲状腺機能亢進症を呈する疾患をバセドウ病と称する。バセドウはこの病気を研究報告したドイツ人医師の名で、英語圏ではもう一人の研究者であるイギリス人医師の名から Graves'disease と称する。

症状

- 家族歴 Family history
家族歴に甲状腺疾患を有することが多く、約 4 割程度の症例に認められる。
- 臨床症状 Physical findings
甲状腺ホルモンの作用は全身の細胞での代謝の促進であり、結果として様々な症状が出現する。甲状腺ホルモンの過剰な状態が持続すると高身長でやせの傾向となり、頻脈や収縮期血圧の上昇が認めら

れる。小児期発症例の症状としては、甲状腺腫、多汗、易疲労感、落ち着きがない、手のふるえ、眼球突出、食欲亢進、頻脈、動悸、学業成績の低下、運動能力の低下、暑がり、排便回数の増加、微熱などの頻度が高い。甲状腺腫の頻度が一番高いが、肥満例で甲状腺腫を見逃したり皮下脂肪を甲状腺腫と間違えたりすることがあるので注意する。患児の得意なもの、即ち勉学の得意な子は成績の低下を、運動の得意な子は運動がうまく出来ないことを最初に訴えることを時に経験する。

● 検査 Laboratory findings

血中遊離サイロキシン thyroxine(T_4)、遊離トリヨードサイロニン triiodothyronine(T_3)、TSH の測定、TBII や TSAb などの甲状腺自己抗体の測定、一般血液検査、甲状腺超音波検査、甲状腺ヨード摂取率やシンチグラム検査などを行う。一般検査では低コレステロール血症が特徴で、甲状腺疾患を疑わずに実施した検査でのコレステロール低値により本疾患が疑われることもある。超音波検査は操作が比較的簡便で侵襲もなく、甲状腺のびまん性の腫大や結節性病変の有無を確認できるので有用である。カラードップラー法は甲状腺内の血流増加を確認できる。放射性物質を使用する検査は実施可能な施設に限られるが、微量ではあるが放射性物質を使用するため十分な説明と同意が必要となる。

治療

バセドウ病の治療には、抗甲状腺薬による内服治療、甲状腺全摘による外科治療、放射線ヨード内服による放射線治療があるが、小児の場合薬物療法が第一選択となる。小児バセドウ病の治療ガイドラインに沿って治療を進める。

抗甲状腺薬にはチアマゾールとプロピルチオウラシルがあるが、チアマゾールが第一選択薬となる。理由は、服薬コンプライアンスがよい、初期治療における甲状腺機能正常化が速やかである、プロピルチオウラシルは重症肝障害や抗好中球細胞質抗体（ANCA）関連腎炎および血管炎の報告が多い、などである。初期治療量は 0.5~1.0mg/kg/日 とされるが、最近では少なめの量で開始することが推奨されている。治療開始直後は2週毎に副作用をチェックし、甲状腺機能が安定してきたら維持量にまで減量する。プロピルチオウラシルによる重症肝障害は小児で多いので出来るだけ使用は避けたいが、やむをえない場合は十分な説明と同意が必要である。軽度の副作用出現時は交差反応性があるのでしばらく治療を継続するが、軽快しない場合は薬剤を変更する。重篤な副作用出現時には直ちに治療を中止しヨード剤を使用するが、ヨード剤でエスケープした場合には手術や放射線治療を考慮する。

甲状腺機能は通常2~3ヶ月で安定し、維持量はチアマゾール隔日5mgから10mg/日程度となる。以後3~4ヶ月に一度の検査で機能正常を確認する。なお、経過中の甲状腺機能安定化を目的として甲状腺剤を併用することもある。維持療法中におこる副作用としては、特にプロピルチオ

ウラシル使用時に多い ANCA 関連血管炎が重要であり、出現時には直ちに使用を中止する。抗甲状腺薬を最低でも1.5~2年継続し、維持量で甲状腺機能が正常であれば治療中止を考慮する。TRAbが陰性化した場合は寛解している可能性が高くなるが、正確な予後の予測はできない。また、抗甲状腺薬隔日1錠で6ヵ月以上TSH値を含めて甲状腺機能が正常に保たれていれば中止を検討してもよい。再発の危険性は、低年齢である、甲状腺腫が大きい、血清T₃/T₄値が高い、治療前の機能亢進が強い、抗TSH受容体抗体の治療による低下が少ない、などがあると高いと言われている。中学生や高校生で受験を控えている場合などは、甲状腺機能が安定していても学生生活を考慮して治療を継続しておくことがしばしば行われる。

抜粋元：http://www.shouman.jp/details/5_10_15.html